

○ 言語活動例が「内容」に移され、記述が具体化されたことにもない、実際にはどのような取組が必要になるのか。

各科目及び各領域においては、基礎的・基本的な知識・技能を活用して課題を探究することのできる国語の能力を身に付けることができるよう、内容の(2)に社会生活に必要なとされる言語活動が具体的に例示されている。

このことは、指導事項と言語活動例は別々に指導するのではなく、密接な関連を図って指導しなければならないということである。一年間の授業を通してバランスよく指導するためには、言語活動例と指導事項を適切に組み合わせた年間指導計画の作成が必要である。

なお、言語活動例とあるように、これ以外の言語活動を取り上げることも考えられる。学校や生徒の実態に応じて様々な言語活動を工夫し、その充実を図っていくことが重要である。

【国語総合】言語活動例の新旧対照表】

	新学習指導要領	現行学習指導要領
A 話 す こ と ・ 聞 く こ と	<p>ア 状況に応じた話題を選んでスピーチしたり、資料に基づいて説明したりすること。</p> <p>イ 調査したことなどをまとめて報告や発表をしたり、内容や表現の仕方を吟味しながらそれらを聞いたりすること。</p> <p>ウ 反論を想定して発言したり疑問点を質問したりしながら、課題に応じた話合いや討論などを行うこと。</p>	<p>ア 話題を選んで、スピーチや説明などを行うこと。</p> <p>イ 情報を収集し活用して、報告や発表などを行うこと。</p> <p>ウ 課題について調べたり考えたりしたことを基にして、話合いや討論などを行うこと。</p>
B 書 く こ と	<p>ア 情景や心情の描写を取り入れて、詩歌を作ったり随筆などを書いたりすること。</p> <p>イ 出典を明示して文章や図表などを引用し、説明や意見などを書くこと。</p> <p>ウ 相手や目的に応じた語句を用い、手紙や通知などを書くこと。</p>	<p>ア 題材を選んで考えをまとめ、書く順序を工夫して説明や意見などを書くこと。</p> <p>イ 相手や目的に応じて適切な語句を用い、手紙や通知などを書くこと。</p> <p>ウ 本を読んでその紹介を書いたり、課題について収集した情報を整理して記録や報告などを書いたりすること。</p>
C 読 む こ と	<p>ア 文章を読んで脚本にしたり、古典を現代の物語に書き換えたりすること。</p> <p>イ 文字、音声、画像などのメディアによって表現された情報を、課題に応じて読み取り、取捨選択してまとめること。</p> <p>ウ 現代の社会生活で必要とされている実用的な文章を読んで内容を理解し、自分の考えをもって話し合うこと。</p> <p>エ 様々な文章を読み比べ、内容や表現の仕方について、感想を述べたり批評する文章を書いたりすること。</p>	<p>ア 文章に表れたものの見方や考え方などを読み取り、それらについて話し合うこと。</p> <p>イ 考えを広げるため、様々な古典や現代の文章を読み比べること。</p> <p>ウ 課題に応じて必要な情報を読み取り、まとめて発表すること。</p>